

キ/コも通信

第18号

平成25年8月6日
発行責任者 尾崎直利

暑かったですが、涼しい風も通り抜けました(*^_^*)



8月3日、夏本番にも関わらず、ありがたいことに9名のメンバーが集結。ビオトープエリアや進入路での除草作業や斜面のシノヅ退治に汗を流しました。途中、あしなが蜂の巣を草払機で刈るハズニングもありましたが、刈ったメンバーの顔の皮が相当に丈夫なようで、蜂に刺されることもなく無事に作業を終えることが出来ました。参加いただいた皆様、暑い中ありがとうございました。

次の作業は、少し涼しくなってから始めます。

里山からの恵み

ビオトープエリアでは、冬瓜や南瓜が順調に生育、収穫も同時に楽しみました。

冬瓜を持ち帰ったメンバーによりますと、“豚挽き肉のあんかけ煮”に調理したそうですが、柔らかくて美味しかったそうです。

大根の代わりにおでんに入れても美味しい冬瓜。

しばらく作業は中止しますが、南瓜も順調に育っていますので、冬瓜と南瓜の収穫ツアーを開催します。

持続可能な里山整備に向けては、里山からの恵みを享受することも大切ですので、皆様の参加をお待ちしています。



キノコ類は、植菌してから収穫まで2年~3年を要しますが、ビオトープエリアの農作物は、短期間での収穫が可能です。冬に向けて、育てたい野菜類がございましたら、事務局まで遠慮なく申し出てください。白菜や春菊、ネギを植えて、収穫したキノコも一緒にみんなで鍋でも囲みましょう(*。*)

頑張っ、鍋に入れる魚を釣って来ましようか)o((大目標はクエですが、本格的に釣いを始めて20年。いまだにクエと呼べるサイズは釣ったことがありません。ま、鯛・カワハギ・ハタ類になるでしょう)

今回の活動では、来春に自然薯を植えつけることで話が盛り上がりしました。



収穫の始まった冬瓜。これからが楽しみです。

伸び始めたシノブも再度退治。

収穫ツアーを開催します

開催日 平成25年8月31日(土)

時間 午前8時 市役所東玄関前駐車場

内容 カボチャと冬瓜の収穫

猛暑につき、作業は実施しません。収穫を楽しみたい、美味しい作物を食べたいと考えている皆様の参加をお願いします。



平成25年度京都府地域力再生プロジェクト支援交付金を申請

今年も、京都府地域力再生プロジェクト支援交付金の申請をしました。申請が認められれば、今年も貴重な活動資金を30万円確保することができます。

全額補助の交付金は今年度が最終年度となり、来年度からは2/3の補助になりそうですが、それでも持続可能な活動に向けては、ありがたい制度です。



必要な資材を購入します

京都府地域力再生プロジェクト支援交付金を活用して里山整備に向けて必要とする資材を購入します。

昨年度は、チェーンソーや草刈り、植菌に必要とする資材を購入しました。

単価が3万円を超える備品の購入は認められませんが、必要とする資材の希望がございましたら事務局までご連絡ください。

メンバー募集 キノコモクラブでは常時メンバーを募集しています。

大変な作業も大人数で実施すれば、比較的容易に出来ます。里山からの恵みも享受しながら、持続可能な活動を目指していきたいと考えています。興味のある方は申込書に必要事項を記入の上、木津川市役所観光商工課武田まで送信してください。